



■ 夏目 與市 (なつめ よいち)

有珠山噴火を2度経験して得た教訓を人々に伝え、防災意識を高めたい

略歴

北海道深川市生まれ、洞爺湖町在住。転勤で胆振管内を廻る中で2度の有珠山噴火に遭遇し、1977年噴火では行政の立場で、2000年噴火では自治会長として避難生活者のサポートに携わりました。この経験を通じて、住民、行政、専門家の3者の連携が欠かせないと実感しました。

主な活動歴

- 1977年 行政の立場で避難生活者をサポート
- 1978年 洞爺湖町火山科学館の展示内容検討に携わる
- 2000年 自治会長として避難生活者をサポート
- 2005年～ 有珠山ガイドの会に所属し、西山・金比羅火口域を中心にガイド活動

得意分野

<洞爺湖有珠山周辺のガイド>

1977年と2000年の2度、有珠山噴火を直接体験しました。1977年噴火では、有珠山の噴火を間接的に体験でき、防災にも役立てられる「火山科学館」を洞爺湖温泉に開設するために努めました。

2000年噴火では、豊浦の礼文華小学校・中学校と長万部町のスポーツセンターの3か所で55日間避難生活をしました。

これらの体験を、洞爺湖周辺を訪れる多くの皆さんにガイドをしております。特に、「災害時にはほんの少しの判断ミスや行動の遅れから、尊い命を失うことになる。」ことを、下記のような写真や具体例をあげて説明しております。

- 1977年噴火では、避難のタイミングや方法、旅客機への火山弾直撃の新聞記事
- 2000年噴火では、立ち入り禁止区域への侵入、旧消防署横の池に沈んでいるレンタカー、危険地域内で撮影されたビデオや写真

抱負や自己PRなど

修学旅行で訪れる児童・生徒たちは、これから世界各地で活躍されることになるでしょう。しかし、私たちの住んでいる地球は、活動をしております。そのため、世界の各地で災害が発生し、たくさんの被害が出ております。ですから、どこでどんな災害に遭遇するかわかりません。

有珠山の災害で学んだことを参考にして、将来、どこで、どのような災害に遭遇しても、命を守る人になってもらいたいと思っております。